

道民カレッジロゴマーク
愛称「マナボー」

college news

カレッジだより

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

2016 Sep.

vol. 30

2000単位を取得して

道民カレッジ生

滝川市 平川 省三



6月に2000単位を取得しました。その内訳は①「教養コース」788単位 ②「ほっかいどう学コース」542単位 ③「環境生活コース」264単位 ④「健康・スポーツコース」227単位 ⑤「必修コース」91単位 ⑥「能力開発コース」88単位で、称号（博士）未取得は「能力開発コース」のみです。次に講座受講先の機関別では①リブラーン（滝川市生涯学習振興会）講座670単位 ②道関係機関（道博物館・開拓の村・野幌森林公園自然ふれあい交流館・当別青山道民の森・道埋蔵文化財センター・道立図書館等）393単位 ③他市町村カレッジ連携講座255単位（砂川市民大学・ふるさと江別塾・いしかり市民カレッジ・旭川シニアリーダー倶楽部・札幌めだかの学校・札幌シニアライフのレクリエーション等）383単位 ④各大学市民講座公開連携講座255単位 ⑤道民カレッジセミナー等（レポート含む）172単位 ⑥滝川高校（定時制夜間）科目履修127単位となっております。

平成16年3月末、65才で定年退職しました。退職したら故郷の滝川に戻って①趣味（囲碁～アマ6段） ②地域活動 ③生涯学習等を中心にやっていこうと考えていました。

道民カレッジ入学は平成17年5月です。リブラーン入会手続きの際、窓口ガイドブックが置いてあって、その存在を知り、同時に手続きしました。

現役時代は、事業種別にノルマの課せられた、結構きつい職場でした。同僚の大半は60才、63才でやめていきました。道民カレッジに入学はしたもの、退職後の数年間は「しばらくは骨休め」とばかり囲碁クラブに通い、パークゴルフ、スーパー銭湯めぐり等で遊び回っていました。今にして思えばこの数年間が「少し勿体なかった」となる訳ですが……。リブラーンでは以前年に一度「会員交流会」が行われていました（現在は会場の関係で中断中）。女性会員（実行委員）の皆さんがオードブルを手作りして、市の関係者、振興会役員、講師の先生方、一般会員が一同に集う楽しいパーティでした。22年から25年までの4年間、その実行委員長を務めさせていただきました。

22年12月、市の民生委員児童委員に任命され、また、翌年には町内会の副会長に選出されました。そうした立場から昨年6月、町内会に「ふれあいサロン」を立ち上げました。月に一回、各自お弁当・飲み物を持って会館に集まり、ランチと談話を楽しむものです。また、ゲームなどで遊びます。市の包括支援センター、保健センター、警察、消防等関係機関からは交互に「出前講座」もしていただいています。こうした「サロン」を運営していく際には、例えば北海道情報大学中村正巳先生（教授）の「コミュニケーション・教育カウンセリング」講座における「積極傾聴技法（解決志向アプローチ）」「日常の人間関係が良くなる技術」等、何度か講座を受講するうちに、少しずつその応用の仕方が分かってきたりします。また、札幌シニアライフの「演歌体操」「笑いヨガ」「ふまネット体操」「ダンス」なども参考にさせていただいています。

これからは「元気な人が弱い人を支えていく」そうした時代だと思います。私の住む地区には4つの町内会がありますが、ある町内会長さんは「もう役員のなり手もないし、合併を考えなくてはいけなくなった」と肩を落としています。また今回地区の老人クラブが、高齢化・会員減少で解散消滅してしまいました。地域のきずなをこれから強めていかなければならない時に、大変残念なことです。

道民カレッジは5千単位を遠くに眺めながら、そして地域活動も少しでも長く貢献していけるように取り組んでいきたいと思っています。

道民カレッジ1万単位取得おめでとうございます

表彰概要

- 1 単位取得者 榎本 聡子 さん
- 2 表彰日 平成28年6月2日

3 榎本 聡子さん挨拶

「道民カレッジは、私の人生であり、大切な宝物です。年齢を重ねるごとに自主的に学ぶことが難しくなります。高齢者の学びには社会の理解と高齢者自身の努力が大切です。」

4 高橋はるみ学長より

「道民カレッジは、産学官の連携のもと、学びたい意思があれば、誰もが気軽に学ぶことができる生涯学習の学舎として、平成13年からスタートしました。

15年目を迎えた今年度は、2万7千人を超える道民の皆さんが、カレッジ生として学ばれています。そのお一人に、本日のシンポジストをお引き受けいただいた榎本聡子さんがいらっしゃいます。

榎本さんは、平成18年に入学して以来、意欲的に学習活動に励まれ、今回カレッジ生として初めて1万単位を取得されるとともに、自ら設立した学習サークルで講師を務めるなど、自らの学びの成果を地域に広げられています。

こうしたことは、大変すばらしいことであり、ほかのカレッジ生の模範にもなると考え、敬意を表して、この機会に、榎本さんへ「道民カレッジマイスター」の称号を授与することとしました。

道としては、これからも、各種講座を拡充していくとともに、北海道の現状や歴史を学び、未来を展望する「ほっかいどう学」を軸に、これからの地域づくりに主体的に参画する人材の育成を進め、誰もが幸せに暮らすことのできる持続可能な地域づくりにつなげていく考えています。

カレッジ生の皆様には、生まれ育った地域や北海道を大切にしながら、更なる学習活動に取り組み、学びの輪を広げていただきたいと思います。

また、市町村やNPOなど関係の皆様には、地域や分野の垣根を越えて、多様な主体との「連携」を一層意識しながら、連携講座への登録、様々な学習機会の創出や、その学習した成果を生かすための仕組みづくりへのご協力をお願いします。

結びに、この後のシンポジウムが、輝きつつける北海道の実現に向け、道民カレッジが力強く前へ踏み出す機会となることを祈念し、あいさつとします。



知事と二人の写真



称号写真

「ほっかいどう学」地域活動推進講座

平成28年度は道央圏域からは浦河町、十勝圏域から中札内村で開催しています。

学習した成果を町づくりに活用することを目的として、4年目を迎えています。活動の様子は、ホームページ上でも紹介しています。

1 浦河町

町内在住及び町内企業に勤務している青年同士のつながりを重視し、若者がふるさとを考え、地域課題の掘り起こしや解決に向けて活動するための企画・立案力や行動力を培う機会を提供し、次代の町づくりを担う人材育成を目的としています。

対象者：・浦河町内在住及び町内企業に勤務している青年層
・将来、浦河町を支える人材となりうる浦河高校、浦河看護学校学生

第1回目の様子▶



2 中札内村

中札内村ポロシリ大学生を対象とした1年目の活動のねらいは、近隣市町村の高齢者や村内の小中学生との交流に必要なコミュニケーションづくりです。エンカウンターを用いた軽運動やゲームを通してコミュニケーションの取り方を学んだり、「ほっかいどう学」大学インターネット講座のDVDを視聴し地域づくりについて出演講師を招いて学習を深めます。

対象者：・中札内ポロシリ大学生

第1回目の様子▶



平成28年度道民カレッジ主催講座のご案内

(1)「ほっかいどう学」大学インターネット講座

道民カレッジ主催講座である「ほっかいどう学」大学インターネット講座は、称号申請に必要な必修単位が1講座1レポートの提出で1単位取得できます。

今年度も、動画共有サービス「Youtube」を経由して道民カレッジホームページにて公開予定です。

参加大学	講 師	講座のタイトル
北海学園大学	中園 桐代先生 (経済学部教授)	子どもの貧困・母子家庭の困難 ～私たちができる支援とは？～
北海道情報大学	大島 慶太郎先生 (情報メディア学部准教授)	旅気分で国際映画祭へ行こう！ ～新千歳空港をアニメ文化の聖地に～
北翔大学	尾形 良子先生 (生涯スポーツ学部准教授)	生活を守る地域住民たち ～江別市シルバー人材センターが担う地域福祉～
北海道教育大学	和田 恵治先生 (旭川校理科教育教授)	黒曜石のふしぎな世界 ～日本一の産地「白滝ジオパーク」を訪ねて～
北海道医療大学	齊藤 浩司先生 (薬学部教授)	嗜好品・サプリメントと薬の相性 ～気をつけたい飲み合わせを知る～
北星学園大学	松浦 年男先生 (文学部准教授)	方言の危機を考える ～世界の言語と北海道方言～
札幌大学	柴田 詠子先生 (女子短期大学部助教)	ダンスを楽しもう！ ～「踊る」ダンスと「見る」ダンス～
北海道大学	下鶴 倫人先生 (獣医学研究科准教授)	ヒグマについて学ぼう ～森の王者の不思議な生態～

(大学名は50音順)

連携講座 ジュニアコースの活動紹介

*ジュニアコースは平成27年度より、北海道を担う小中学生の生きる力の育成を図ることを目的とした講座です。

ネパール砂川の実践

事業名	「ネパルススポーツクラブ 春」
実施日	平成28年5月21日(土)～22日(日) 1泊2日
参加対象	小学3年生～6年生 20名
参加実績	24名 小3＝7名 小4＝7名 小5＝7名 小6＝3名(男子＝13名 女子＝11名)
運営協力者	一般1名、大学生2名、高校生1名
講 師	A-STYLE TRAINER'S TEAM (エースタイルトレーナーズチーム) キッズプロデューサー

○事業の背景

平成26年度の「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」により全国平均より下回っていることが明らかとなった北海道の小中学生の体力は、平成27年度においては全国平均との差を詰める等、改善の兆しはあるものの、依然として全国平均を下回っている。

また、北海道の児童生徒は、あまり運動をしていない傾向も見られ、子どもたちの体力向上や運動習慣の定着に向けた取り組みが求められている。

○当日の様子

1日目は、施設内で「新体力テスト」「レクゲーム」「アドベンチャーラリー」などを行い緊張と体をほぐし、夕食後の「スポーツアミューズメント」では遊びの要素を取り入れたトレーニングを数種類行った。

2日目は、砂川市宮陸上競技場で専門の講師による速く走るためのト

レーニング「らんとれ」を行った。スタートからゴールまでを3つに分割し、姿勢、もも上げ、スライドの広さなどを参加者に説明し、その後50m走や対抗リレーを行った。

○成果と課題

- ・各活動をととして、参加者に体を動かす楽しさを感じさせることができた。
- ・専門的講師による「らんとれ」では、スポーツに対する意識の向上が見られた。
- ・小3と小6では体格の違いから、活動の内容によっては難しすぎたり、優しすぎたりするなど、どちらにとっても不十分となる場面が見られた。参加者の状況を考慮したプログラムづくりを検討する必要がある。
- ・運動習慣の定着や、望ましい生活習慣の定着を促進するため、回を重ねる毎に徐々に意識を高めるなど1年を通した取り組みを実践する必要がある。



活動の様子



活動の様子

指定講座 「かでる講座」からのお知らせ

道民カレッジ事業を受託する(公財)北海道生涯学習協会では、道民カレッジ指定講座「ほっかいどう学」かでる講座を今年度は11回計画していましたが、平成29年1月17日(火)に特別医療講座を開催することになりました。他の「かでる講座」同様、電話・ファックス・メールでお申し込み下さい。

- 開催日時 平成29年1月17日(火)
- 場 所 かでる2・7 4階大会議室
- 講 師 医療法人社団 北腎会 坂泌尿器科病院 理事長・院長 坂 丈敏 氏
- テ ー マ 「泌尿器の病気の治療最前線」～高いQOL(生活の質)を目指して～
- 受講料 一般 500円 賛助会員 400円
- 単位認定 道民カレッジ学生には必修1単位・ほっかいどう学2単位のどちらか選択できます。

道民カレッジ15周年記念
平成28年度

受講料 一般 ¥500
賛助会員 ¥400

「ほっかいどう学」
かでる講座

特別医療
講座

単位認定
道民カレッジの学生は
必修1単位(必修2単位)の
どちらかを選択できます。

会場 かでる2・7 4階
大会議室(定員200名)
(札幌市中央区南一条西7丁目)

H29年1月17日(火)13:30～15:30

「泌尿器の病気の治療最前線」
～高いQOL(生活の質)を目指して～

(15:40～30分程度)
講師 坂 丈敏 氏
医療法人社団 北腎会
坂泌尿器科病院 理事長・院長
坂 丈敏 氏

どなたでも参加できる講座です！是非ご参加下さい。

申し込み先
電話 011-204-5780
ファックス 011-281-8864
メール 道民カレッジ事務局

定員200名に達
した場合は、抽選
で参加者を決定
します。抽選は
1月17日(火)の
午前中に行います。

主催:(公財)北海道生涯学習協会

道民カレッジ連携講座の状況と募集について

平成28年度（前期・後期）連携講座状況（H28.8月末時点）

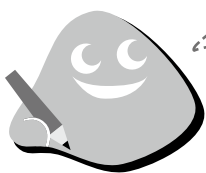
◇コース別参加団体・講座数

※団体数は延数とする

区 分 コース別	市町村		高等教育機関等		専修学校及び各種学校		各種団体		関係機関		青少年教育施設		合 計	
	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数
ほっかいどう学	35	87	22	53	3	5	28	66	25	72	0	0	113	283
能力開発	10	33	27	152	5	14	21	47	8	8	17	37	88	291
環境生活	37	82	19	70	2	4	29	54	6	12	14	17	107	239
健康・スポーツ	30	130	29	75	4	10	37	107	4	13	6	6	110	341
教養	57	155	74	641	8	28	42	145	17	82	4	11	202	1,062
ジュニア	47	119	16	56	9	27	17	62	22	75	33	86	144	425
合計	216	606	187	1,047	31	88	174	481	82	262	74	157	764	2,641

道民カレッジ連携講座を募集しています。

道民カレッジでは、自立した北海道の創造に寄与する人材を育成するために、産学官が連携し、道民の多様化、高度化する学習ニーズに対応することにより、道民が自らの意思によって学べるよう、道内各市町村等で行われる様々な学習機会を連携講座として募集しています。



【生涯学習の講座を主催されている団体様へ】

このように多くの講座が道民カレッジ連携講座として開講されています。
道民カレッジの学生数は現在28,000人に達し、道内各地域で生涯学習に取り組んでいます。
道民カレッジの連携講座として申請することにより、受講生の獲得に繋がるかもしれません。
是非、連携講座としてお申し込みください。お待ちしております！！

《対象となる講座》

◎実施期間 前期分は4月～9月末、後期分は10月～翌年3月末

◎実施要件 以下のいずれかの要件を満たすもの

- ・市町村及び大学・短大、高等学校・特別支援学校、専修学校、各種学校等、各種団体、民間教育事業者・企業等が実施する講座であること。
- ・道民が学習成果を活用して実施する自主企画講座であること。
- ・道民の生涯学習活動の推進に資すると認められるものであること。

《募集期間》

*連携講座は年間をととして募集を行っていますが、ガイドブック掲載募集期間を過ぎて申込みされた場合は、後日ホームページや号外編で紹介します。

◎ガイドブック掲載募集期間

1月中旬～2月中旬：4月から9月末まで実施の講座 【前期分】

7月上旬～8月上旬：10月から翌年3月末まで実施の講座 【後期分】

《連携講座の手続きについて》

◎「道民カレッジ連携講座開設申込書」（道民カレッジホームページ上に様式あります）に必要事項を記入のうえ、Eメール・FAXまたは郵送により、道民カレッジ事務局へお申し込みください。

なお、講座の開催要項等がある場合は、添付してください。

◎また、すでにユーザーID・パスワードを発行されている機関・団体等は、インターネットによる講座情報入力によりお申し込みください。

◎コース分類は、上記を参照ください。コースにご希望がございましたら、ご指示ください。

◎お申し込み後、審査の上通知いたします。

《その他》

◎連携講座の主催者は、連携に指定された講座について道民カレッジの連携講座であることを表示してください。

◎この募集要項や連携講座申込書は、下記のホームページにも掲載してあります。

【お問い合わせ先】

○事務局：道民カレッジ事務局（（公財）北海道生涯学習協会）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 9階

TEL 011-231-4111（内線36-345）・011-204-5780／FAX 011-281-6664

Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp

道民カレッジホームページ <http://manabi.pref.hokkaido.jp/hsgk/college/>

○主 催：北海道教育委員会

最近の

道民カレッジ事務局



カルチャーナイト2016

平成28年7月22日（金）に札幌市内の公共・文化施設が夜間（17：30～22：00）開放され様々な文化体験プログラムが提供されました。かでの9階「まなびの広場」では北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル深川・砂川・森から様々な体験が用意されました。また10階の視聴覚センターでは「ほっかいどう学」ジュニアネット検定の学習支援サイトが体験でき、家族連れや小中学生のグループなど学びの広場と視聴覚センターあわせて1564名の参加がありました。



「ほっかいどう学」ネット検定申込始まる

平成26年度からネットシステムを利用した検定を実施しており、今年で3回目を迎えました。北海道をよく知ることを北海道づくりの基本とし、北海道を理解し、北海道を愛し、北海道の創造的発展の主体となる道民を育てることを目的として一般検定と小中学生を対象としたジュニア検定に分かれています。申込期間・検定期間等は次のとおりです。



- 申込期間：9月1日（木）～11月9日（水）
- 検定期間：11月17日（木）～11月30日（水）
- 検 定 料：一般検定 1・2級 2000円、3～5級 1000円（「歴史・文化」「自然環境」共通）
ジュニア検定 無料
- 合格発表：平成29年1月中旬
- 申 込 先：<http://www.hsgk.jp/net/kentei.html>

「ほっかいどう学」かでの講座 アンケート結果



平成28年7月26日（火）第5回かでの講座において、参加された皆様にかでの講座についてアンケートにお答えいただきました。結果を集約しましたのでお知らせします。

- 1 参加者性別 男70% 女30%
- 2 参加者年代 60代55% 70代34% 80代8% 50代3%
- 3 カレッジ生86% カレッジ生以外14%
- 4 講座を知った媒体 ガイドブック59% 郵送チラシ14% 知人・友人13% 新聞広告14%
- 5 講座は 大変良かった30% 良かった64% やや不満5% 不満1%

後期のアンケートは、かでの講座10回目をお願いする予定です。皆様のご意見をいただきよりよい講座を目指してまいりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

附属視聴覚センターをご活用ください

附属視聴覚センターでは、学校での授業や各種研修会・講座などで活用可能な視聴覚教材を無料で貸し出ししています。また、視聴コーナー及び試写室も併せてご利用ください。

詳しくは、北海道立生涯学習推進センター附属視聴覚センターのホームページをご覧ください。か下記へお問い合わせください。

◆ 問い合わせ先 ◆

かでの2・7 9階 附属視聴覚センター

TEL 011-231-4111（内線36-345）



▲ 試写室

新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(敬称略 本人から承諾を得ている方を掲載しています。)

● 学長奨励賞 (2000 単位取得) ●

西川 暢一 (札幌市)	平川 省三 (滝川市)	松井 英成 (帯広市)
松井 絹子 (帯広市)	石川 弥一 (札幌市)	高畑 司 (札幌市)
中西 紀悦 (札幌市)	堀北 真吾 (札幌市)	

● 学長奨励賞 (1000 単位取得) ●

品田 紀子 (小樽市)

● 博士 (300 単位取得) ●

三谷 馨 (札幌市・健)	丸尾 清一 (札幌市・教)	中川 良助 (苫小牧市・ほ)
品田 紀子 (小樽市・能)	紺野 秀子 (帯広市・環)	紺野 秀子 (帯広市・教)
林 葵 (帯広市・能)	鈴木 茂 (函館市・教)	西川 暢一 (旭川市・能)
秋江 慶子 (帯広市・環)	宇賀 邦久 (札幌市・能)	坂本 春恵 (音更町・健)
伊東 正憲 (旭川市・環)	山内ヒメ子 (札幌市・ほ)	松井 英成 (帯広市・能)
松井 絹子 (帯広市・能)	山内ヒメ子 (札幌市・教)	田中 裕史 (帯広市・能)
船田 公正 (札幌市・教)	樋口 雄幸 (札幌市・教)	高畑 司 (札幌市・健)

● 修士 (200 単位取得) ●

坂本 春恵 (音更町・健)	石垣 重明 (札幌市・教)	三谷 馨 (札幌市・能)
佐々木史江 (帯広市・教)	品田 紀子 (小樽市・教)	紺野 秀子 (帯広市・能)
藤田 仁助 (帯広市・能)	林 葵 (帯広市・能)	西川 暢一 (旭川市・能)
山下 芳孝 (音更町・ほ)	熊谷 ゆき (札幌市・能)	秋江 慶子 (帯広市・環)
高橋 延好 (帯広市・教)	矢野 公信 (帯広市・教)	伊藤 正憲 (旭川市・健)
山内ヒメ子 (札幌市・ほ)	山内ヒメ子 (札幌市・教)	加納 信義 (帯広市・環)
加納 信義 (帯広市・教)	加納 信義 (帯広市・ほ)	陰山 昭男 (札幌市・ほ)
松井 英成 (帯広市・能)	松井 絹子 (帯広市・能)	坂本 春恵 (音更町・環)
吉田 良子 (札幌市・教)	笹 幾子 (札幌市・ほ)	太田 順治 (札幌市・教)
今野 康志 (札幌市・ほ)	堀北 真吾 (札幌市・健)	

● 学士 (100 単位取得) ●

三田 郁朗 (釧路市・教)	佐藤 房子 (苫小牧市・健)	田村 初江 (札幌市・教)
安井 司 (羽幌町・教)	古跡 幸雄 (羽幌町・教)	真鍋 恭子 (羽幌町・教)
青柳 登 (羽幌町・教)	黒田 幸子 (羽幌町・教)	品田 紀子 (小樽市・教)
西川 暢一 (旭川市・能)	秋江 慶子 (帯広市・能)	高橋 延好 (帯広市・能)
田中ひろ子 (帯広市・ほ)	田中ひろ子 (帯広市・環)	田中ひろ子 (帯広市・教)
羽山 勝繁 (札幌市・ほ)	鎌田 一彦 (札幌市・ほ)	田渕 静秀 (札幌市・教)
矢野 公信 (帯広市・健)	鈴木千枝子 (札幌市・教)	笹 幾子 (札幌市・ほ)
杉本 正雄 (札幌市・ほ)	福島 敏之 (札幌市・能)	加納 信義 (帯広市・能)
加納 信義 (帯広市・健)	森田 敏光 (札幌市・ほ)	鈴木 正義 (旭川市・健)
屋敷 秀 (滝川市・ジ)	藤見ゆりや (深川市・ジ)	今 嗣王 (札幌市・教)
江頭モト子 (札幌市・教)	堀 保代 (帯広市・ほ)	堀 保代 (帯広市・環)
堀 保代 (帯広市・教)	矢嶋 裕之 (札幌市・教)	

● ジュニア学士 (ジュニアコース 50 単位) ●

屋敷 秀 (滝川市・ジ) 藤見ゆりや (深川市・ジ)

※称号取得の方法や手続きに関するお問合せは、下記の道民カレッジ事務局まで、お気軽にご連絡ください。

なお、道民カレッジのホームページでは、称号取得のモデルプランを見ることができます。

(注) ほ：ほっかいどう学 能：能力開発 環：環境生活 健：健康・スポーツ 教：教養

称号取得者等

学士	修士	博士	学長奨励賞									
			1000単位	2000単位	3000単位	4000単位	5000単位	6000単位	7000単位	8000単位	9000単位	10000単位
817人	578人	464人	92人	45人	13人	4人	4人	2人	1人	1人	1人	1人

カレッジだより Vol.30

平成28年9月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局[(公財)北海道生涯学習協会]

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階

TEL (011) 204-5780 FAX (011) 281-6664

URL <https://manabi.pref.hokkaido.jp.college/>

Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp

twitter <https://twitter.com/doumincollege>

● 道民カレッジ事務局から

1. 道民カレッジ生で住所変更等があった時は、ご面倒でも事務局までお知らせください。
2. カレッジだよりでは、道民カレッジ生のみなさんからの便りを募集しています。「私が実践している生涯学習」や「道民カレッジでこんな体験をした!」など、どのような内容でも結構です。お気軽に事務局までお送りください。(お送りいただいた原稿は返却いたしません。ご了承ください。)

紙面でご紹介させていただく場合がございます。